

アンケートによる保護者様のご意見

今年度もアンケートにご協力、本当にありがとうございました。頂いたご意見をご紹介させて頂いております。たくさんの励みになるお言葉を頂きスタッフ一同感謝すると共により一層質の高い支援を目指して今後も頑張っております。

	ご意見の例	フォーマルハウトから(検討・改善点など)
環境・体制整備	Q1.子供の活動等のスペースが十分に確保されているか 利用人数により左右するように思う	活動スペースでは玩具の置き場所を決めて自主的に片づけが出来る様な環境作りを心掛けています。 感染対策の視点からも一部屋に活動する人数は制限を行い1Fと2Fに分かれての支援を行っております。 又、個別療育のスペースは集中出来る環境作りを心掛けています。
	Q2.職員の配置数や専門性は適切であるか	フォーマルハウトでは、お預かりしているお子様の安全を第一に考え、より良いサービスの提供が出来る様に職員の配置は十分に行っております。又、スタッフ一人一人が専門の研修を受け、将来を見据えた上で必要な事を習得して貰うべく、日々療育に努めています。
	Q3.生活空間は本人に分かりやすい環境になっているか。障害の特性に応じ設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	遊びのスペースと学習をするスペースが視覚的に分かりやすい工夫をしています。バリアフリー化は出来ていないのが現状です。
適切な支援の提供	Q1.子供と保護者のニーズや課題がしっかりと分析されたうえで、児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画が作成されているか	面談時にはご家庭や園での様子をお聞きした上で保護者様のご希望、お子様の苦手とする事を見極めて支援計画を立てさせて頂いております。将来を見据えて幼少期からこだわりなどの問題には「どう向き合っていくのか」等も保護者様と共に考えて療育を進めていくように努めています。
	Q2.児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか 本当にきめ細やかな支援をいただいております。	支援計画を基に日々のご家庭での様子もお聞きしながらその時々に必要な課題を組み込ませて頂いております。苦手とする事が出来るようになった、言葉でのやり取りが増えた等々療育の成果をお聞かせ頂く事も多くあり職員の励みにもなっています。
	Q4.活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	音楽療法、個別学習共にお子様に合わせた教材をたくさん手作り教材を含めて用意しております。興味を持って貰える様に又、飽きないように課題には工夫を重ねております。苦手な事にも向き合える様にご褒美シール等で頑張る気持ちを育てています。
	Q5.障害のない子供と活動をする機会があるか 朝に療育を行っているのわからないです。	なかなかその様な機会を設ける事が出来ないのが現状ですが、地域で運営されている駄菓子屋さんへの買い物等を通して障害のない子どもたちと接する機会があります。地域の公園遊びの中でも触れ合う機会があります。
	Q2.児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6カ月毎の面談時に園での様子、ご家庭での様子をお聞きした上で支援目標案を立てさせて頂いております。
保護者	Q3.保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか ・集まり等があれば是非参加したいです。 ・まだ、通所して一年未満なのでペアトレ的な集まりなどはないが、毎月出されているお便りには、色々と家庭で出来る療育的なアドバイスなど、ためになる事が書かれています。	コロナ前は開催していましたが、現在はご希望をお聞きして、個別に対応させて頂いているところです。公的なところのペアレント・トレーニングの情報と共に今後は事業所内でも取り組みを考えてまいります。
	Q4.日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか。	保護者様にはいつも丁寧にご家庭の様子を連絡帳に記入して頂きありがとうございます。連絡帳を通して普段のお子様の様子を知る事で日常生活で出来る事を増やしていく(お箸の練習、ボタンはめ外し、ファスナー開閉など)手先の巧緻性を高める取り組み等も行っています。